

旅からコミュニケーション考える 聴覚障害ある映像作家の作品上映

松本

聴覚障害がある映像作家今村彩子さん(37)＝名古屋市＝が手掛けたドキュメンタリー「Start Line (スタートライン)」の上映会が20日、松本市のMウイングであった。作品は、沖縄から北海道まで自転車で走りながらコミュニケーションについて考える内容。上映後の講演で今村さんは、コミュニケーションが下手な理由を耳が

聞こえないせいにしていたことに気付いた一などと述べた。

今村さんは母の死をきっかけに自分を見つめようと、2015年夏に自転車店に勤める伴走者と57日間の旅をした。自転車がパンクして困っている人に声を掛けられない場面もあり、「話し掛けていこうと思っても言葉が出ずに自分は駄目だと責めてしまった」と振り返った。伴走者から、単にコミュニケーションが下手なだけではないか、と言われた時はうれしかったとも語



上映後に講演する今村さん

った。

上映会は東筑摩郡山形村のNPO法人が企画した。